

聖学院大学総合研究所 カウンセリング研究センター 2018年度 牧会電話相談年次報告

1. はじめに

2018年度は、相談者数は多くはなかったが、相談内容が深刻でもあり、頻回相談にならざるを得なかった。相談者の中には重篤な肉体の病や心の病を抱えている方々もあり、いわゆるスピリチュアルケアの必要性が迫られたことが今年の特徴でもあった。主な相談内容は次の通りである。

2. 相談概況

○牧師の病気と教会奉仕

牧師が教会や教団との間でストレスを抱えつつ、重篤な病に陥った場合、ストレスの度合いが何倍にも増幅されることを改めて認識した。このような場合、取りあえず仕事量を減らしてもらうことが緊急対応であることをアドバイスした。同時にスピリチュアルケアや牧会カウンセリングを伴う霊的同伴（スピリチュアルディレクション）の必要性を伝えた。

○牧師の休職に伴う課題

牧師がいったん、休職（または退職）をした場合、復帰するために新たなアイデンティティを形成することは、かなりの時間と忍耐が必要であることが実感された。特に休職中の教会生活をどこの教会でするのか、出席教会の選択は簡単ではなく、また、出席教会でどの程度の関わりを持つのかという判断は、改めて大きな課題であると考えさせられた。

○引退牧師との関係

現任牧師にとって引退牧師が引き続きその教会に出席している場合、信徒に影響力があるため牧会が難しくなることが多々ある。引退牧師の関わり方次第では牧会が助けられる場合もあるが、今年度のケースは、相談者がストレスからうつ状態になり精神科を受診しているという深刻なもので

あった。このケースに対しては、自分の状態を相手方に丁寧に伝えること、もし精神症状が回復しないならば、転任を申し出るようにアドバイスした。

表 2018年度相談件数

相談月	相談件数
4月	2
5月	2
6月	1
7月	1
8月	1
9月	—
10月	1
11月	—
12月	1
1月	—
2月	1
3月	—
総計	10

（文責：堀 肇 [ほり・はじめ] 聖学院大学総合研究所特別研究員）

本
書籍のご案内


お近くの書店、Amazon.co.jpからお買い求めいただけます。


ヘンリ・ナウエンに学ぶ

平山正実・堀肇 著

2018年2月1日（3刷）発行
2,000円（税別）

人々の孤独を理解し、共苦から希望へと導くナウエンのアプローチを学ぶ。





聖学院大学出版会 TEL:048-725-9801 FAX:048-725-0324
URL:https://www.seigoinpress.jp